



立命館大学国際平和ミュージアム「自衛隊基地の地域社会史」研究会

# 「地域の軍事化」 を捉える私の視座

—内灘・砂川、そして三里塚へ—

## 12月16日(土)

16:00 ~ 18:30 (開場 15:30)

立命館大学国際平和ミュージアム  
アカデミア立命 21 (セミナー室 1)

講師 森脇孝広氏

(都留文科大学・高崎経済大学非常勤講師)

### 講師プロフィール

1975年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了、博士(社会学)。専門は日本現代史。主な論文に「戦後地域社会の軍事化と自治体・基地労働者」(吉田裕編『戦争と軍隊の政治社会史』大月書店、2021年)、「戦後地域社会の軍事化をめぐる協力と抵抗」(『人民の歴史学』第217号、2018年9月)、「総論 戦後史のなかの砂川闘争 1950年代を中心として」(『歴史評論』第778号、2015年2月)など。

各地で行われてきた自衛隊と米軍による共同訓練や部隊の統合的な運用とともに、ウクライナ戦争で使用される新兵器の自衛隊演習場での実射訓練、新たな自衛隊基地の建設やミサイル部隊の配備などが急激に進んでいる。本プロジェクトでは、地域社会の現場から「軍事化」の力学を検証することを目的にしており、市民に開かれた議論の場を提供したい。